

叢比にて首府コンスタンチノープルに護送したり。日本人の博愛の精神に富める點は、深く吾々をして感動せしめ、深く脳裡に印して忘るゝ能はざるもの有り。故に日露戦争の開始せらるゝや、吾々は相集りて、日夜日本の勝利を神に祈りたり云々

と彼等は實に清國の臣民なり。されば彼等は清國皇帝と、我日本皇帝陛下との親善なるを喜ぶは當然なり。然るに外國の土耳其帝と、我日本皇帝陛下との親善なるを祝することは、大に吾人をして一種の疑惑を惹起せしむるもの無くんばあらず。况んや單に新疆に於てのみならず、露領中央亞細亞、英領印度及阿富汗の回々教徒よりも亦同一の言を聞けるに於てをや。又或る日露國カザン州の回教徒支那人は之をノカイと稱へ、天山北と會談したこと有り。彼等は口を揃へて我天皇陛下の威徳を稱揚し、露國政治の日に非なるを説き、日本と土耳其との親交を喜び、且つ其談話は左の言に及べり。

我々ムスルマン族回々教徒は、中央亞細亞のみにても、約二千萬の民衆あり。往時は相團結して、優勢なる一國を成せしに、物變り、星移り、現今離散して各國に